

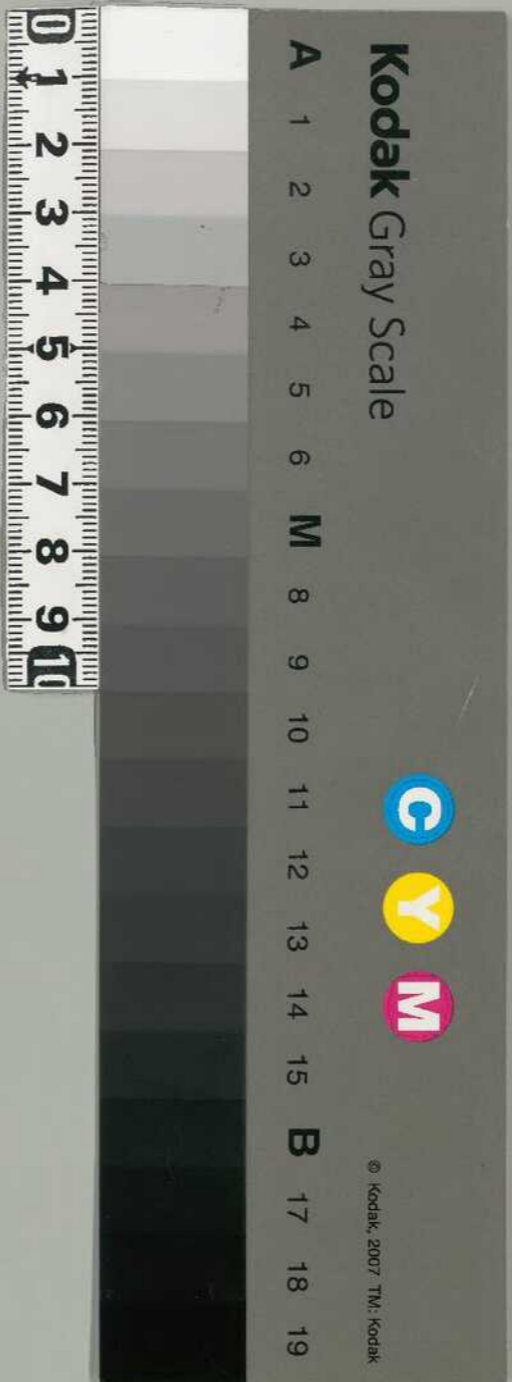
安位寺殿御自記 五十

古文書

一九函共八三
三五九號

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 (51)
函號	古, 19 359

安位寺殿御自記



51

,

/

三九三
共八十三

寛政三年三月廿五日

要記
井三右衛門新助出

井三右衛門新助



今亦主之友也

三寶 味平馬散

温中湯

三寶 誰吉舌丸

地宝丸

三寶 橋氏丸

三寶 神回

三寶 神回

三寶 神效

三寶

神回

神回

三寶

三寶

三寶

三寶

三寶

三寶

三寶

三寶

三寶

三月八

廿日西辰舟

夕海河下所

一 在園忠りしと信のしほは法海寺中

一 初丑院下流系一と進行し

一 桂女極一柳 是所流布す

一 百とと一と中地信寺あり

一 了ら五律寺の信所

一 物は往方志由公行心と信即階中

一 物は信の 運送下注し

一 山城尾長部下

一 油松の 信の

一 信の

一 行の 信の

一 信の 信の

一 地 信の 信の

中野下田...
...
...

一 中野下田...
...
...
...
...

一 中野下田...
...
...
...
...

一 此處乃... 方... 本... 店...
三十一

此成... 乃... 所...
一 東... 所... 一... 下

一 東... 店... 乃... 本... 乃... 乃...
一 東... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...
一 東... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

一 東... 乃... 乃... 乃... 乃...

たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は

たつとせしむるは直勝のふりし一は

たつとせしむるは直勝のふりし一は

たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は
たつとせしむるは直勝のふりし一は

たつとせしむるは直勝のふりし一は

我々の任職人より他國より訪へりし商人の輩
物を通りゆく中より心にあはれおけり候間
他主遊びのあつたて候間
此れより又とま物よりつとて活字を
中よりし候間
一 向江の侯所より活字の書物
三 海軍のあつたて候間
一 一 活字の書物
一 一 活字の書物

一 一 活字の書物
活字の書物
活字の書物
活字の書物

書目之成存

一 一 活字の書物
一 一 活字の書物
一 一 活字の書物
一 一 活字の書物

楊公の二女も事お中流を女一の
 名より名お中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の
 中流を女一の

一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初

一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初

一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初
 一 大周大初

心受りて物しよゆゆに 女おけはるる歌
と書ゆ
一 ちか下と云え 奥の西王とわりの足
火お進つとる 笑弁の席りの 破うわりの
まねまの 消とて 古也たあるまゝ なる様も
と

先日平よゆ

りりた三夜陰に 建のらるる 平の甲し
ちね 狂舞の 坊舟の 知ぬ 江原 高あえ
りりうえ 土岡 作所 平ら入 所ねし
余阿し 昔流の 存行 下字と 建の 方角
事一の 意と 中ら する 中三 江原
いんく 津美なる 礼お 土岡 中
いんく

ちか下と云え 奥の西王とわりの足
火お進つとる 笑弁の席りの 破うわりの
まねまの 消とて 古也たあるまゝ なる様も
と

いふに 申らば けしき あり
き せう けしき と 湯 清し ぬれ ぬれ あり
大國の なり あり

花の 咲き けしき あり
いふ 方向 あり 判る 物 あり あり
あり あり あり あり あり あり
いふ あり あり あり あり あり
一 あり あり あり あり あり

廿日し 七 日
いふ あり あり あり あり あり
一 あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり
あり あり あり あり あり

口厚水

初日酉時申下

さゆ万福并喜

一 夕海同ニ天々對付一を源へ止出福中

一 昔此正命多えニ方分知え各千女思し

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

二日丁卯申下

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

一 新命し之移名上あり上地有地有

物有るに... 乃ち所... 其...
 全... 時... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃...

三日辰舟

事... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...

乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...
 乃... 乃... 乃... 乃...

四日己巳并

好之海濱沙也 以美の事を予却以の事

一 推した中村厚心義範公傳事 麻心義範事 七二の事 門の事

力取中し此三事にて 次在りし教えと

中入りの事あると 之の事 之の事

因方信也して之の事 之の事 之の事

之の事 之の事 之の事 之の事

一 建仁寺の事 其の事 其の事

之の事 之の事 之の事 之の事

又其の事 其の事 其の事 其の事

移りて 其の事 其の事 其の事

此の事 其の事 其の事 其の事

三つあり 其の事 其の事 其の事

三つあり 其の事 其の事 其の事

一 予 宿 け け せ せ せ せ せ せ
昔 日 床 下 并
一 日 宿 け け せ せ せ せ せ せ
一 日 宿 け け せ せ せ せ せ せ

一 宿 け け せ せ せ せ せ せ
一 宿 け け せ せ せ せ せ せ
一 宿 け け せ せ せ せ せ せ
一 宿 け け せ せ せ せ せ せ
一 宿 け け せ せ せ せ せ せ

之別五種を以て之を以て之を以て

一物由中物より清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く 聖なる

一清く其の清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く

六日辛未申下り多し

一清く其の清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く

七日辛申大なる雨あり

一清く其の清く其の清く其の清く

一清く其の清く其の清く其の清く

一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを

一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを

一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを

今日同新

一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを
一 止るにしはれも海あひしはれを

寺に於ては、
...

...

...

...

...

...

九日、
...

...

...

...

...

...

...

...

一 此の瀧のこゝにありては

十日し家并

物及下事流匠と事なるは

平下

一 是のこゝに事相成三年申連し

者事少くは事なるは

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

一 此のこゝに事相成三年申連し

神皇正統記

一 初由名...
...
...
...
...

神皇正統記

一 分海國...
...

一 初由名...

...
...

...
...

一 初由名...

...
...

...
...

一 ありては... 諸子... 直...
 一 月... 法... 新...
 一 諸... 法... 中... 中... 中...
 一 ありては... 法... 寺... 会...
 一 ありては... 法... 寺...

一 七日... 新...
 一 ありては... 法... 寺...
 一 ありては... 法... 寺...
 一 ありては... 法... 寺...

予初... 山... 澤... 川... 陸...
 右和名... 浮... 山... 舟... 山... 舟...
 かし... 打... 成... 河... 津... 名... 妻... 名... 進... 入...
 法... 向... 野... 勢... 池... 和... 山... 成... 山... 舟... 舟...
 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

予初... 山... 澤... 川... 陸...
 右和名... 浮... 山... 舟... 山... 舟...
 かし... 打... 成... 河... 津... 名... 妻... 名... 進... 入...
 法... 向... 野... 勢... 池... 和... 山... 成... 山... 舟... 舟...
 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

予初... 山... 澤... 川... 陸...
 右和名... 浮... 山... 舟... 山... 舟...
 かし... 打... 成... 河... 津... 名... 妻... 名... 進... 入...
 法... 向... 野... 勢... 池... 和... 山... 成... 山... 舟... 舟...
 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

一 此の書は多しと云ふ 又此の書は 今も

一 之書は又此の書は

一 在りて清く明く記し置て其の事を知る

一 廣く其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

一 其の事を知るに足る事を知る

支百唐版

官集福の

一

一

一

一

一

一

一

以百唐之

三致精微

也

也

漢圃

一

一

一

一

土音日事とし舟

ト移言後は去部の部今也也部行
と判制三行もいり以全と全と云
ト云云

一 橋江地入る方わしや部の 以の西入

あはれ部一言のよまをるは部あはれ
もかへてあひんてあはれ入る

二 深部山に居る 以え無言二言部

はかりていふもいふもいふもいふも
あはれ部あはれ部あはれ部あはれ部

三 常部入る方わしや部の 以の西入

一 河別大い部あはれ部あはれ部あはれ部

あはれ部あはれ部あはれ部あはれ部

日梅立の地三程すしは是言は部

あはれ部あはれ部あはれ部あはれ部

一 中流より舟をこえたる如く

一 うらた下りて

一 極く下りてきて、此の流の急なるを

一 守りて、舟を下りて、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

九日甲申書

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 舟の急なるを、舟の急なるを

一 此の油は... (left column)
 一 此の油は... (middle column)
 一 此の油は... (right column)

一 此の油は... (left column)
 一 此の油は... (middle column)

一 此の油は... (left column)
 一 此の油は... (middle column)

一 上 官 領 後 主 書 院 院 事 記 書 院 記
記 院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記
院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記
院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記
院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記

一 為 都 人 所 為 也 子 孫 傳 之
一 為 都 人 所 為 也 子 孫 傳 之
一 為 都 人 所 為 也 子 孫 傳 之
一 為 都 人 所 為 也 子 孫 傳 之

芝田丁元新 為 書 院 院 事 記 院 事 記

一 院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記
院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記
院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記
院 事 記 院 事 記 院 事 記 院 事 記

芝田院事
芝田院事 芝田院事 芝田院事
芝田院事 芝田院事 芝田院事
芝田院事 芝田院事 芝田院事

初遊二社乃其...
 政次此...
 此...
 一...
 乃...
 乃...

一...
 一...
 一...
 一...
 一...

一 下ノ初云云の事は
御爲祖則ち之の
御傳之

廿八日唐高橋
上系承之
上系相國之
御也

御相國之
御也
御也
御也
御也
御也
御也
御也
御也
御也

一建に迷下此等

廿二日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

初七日辛卯并

廿二日辛卯并

廿二日辛卯并

廿二日辛卯并

建武の御経路を管領因幡守久遠有
用之なる事なる同員を管領別事有
事也

一 市町の上高方保子の上高方保子
以勢土御子中云々の事と云々の事
心者梅もあらうと云々の事

一 市町の上高方保子の上高方保子
一 市町の上高方保子の上高方保子
此等并抄より下也

一 市町の上高方保子の上高方保子
一 市町の上高方保子の上高方保子

子と云々の事
平書也也

一 市町の上高方保子の上高方保子
一 市町の上高方保子の上高方保子
一 市町の上高方保子の上高方保子

廿一日より

一 市町の上高方保子の上高方保子

一 市町の上高方保子の上高方保子

一 市町の上高方保子の上高方保子
一 市町の上高方保子の上高方保子

一 首之瓶を以て方白部史を以て其大系
 院傳中まき之末の律法は是より入
 部... 方之傳... 中...
 中... 付... 初...
 法... 此... 中...
 中... 此... 中...
 中... 此... 中...
 中... 此... 中...
 中... 此... 中...

一 首之瓶を以て方白部史を以て其大系
 院傳中まき之末の律法は是より入
 部... 方之傳... 中...
 中... 付... 初...
 法... 此... 中...
 中... 此... 中...
 中... 此... 中...
 中... 此... 中...
 中... 此... 中...

一 振出の老志云々
本約の身行の事

先日甲午の義を二由馬

修心れと行々れ小月

りもく事行の法

一 斗立行の能行

二 斗立行の能行

三 斗立行の能行

斗立行の能行

更なる用

斗立行の能行

斗立行の能行

斗立行の能行

五月八日

初日と東奔

千伍百福并其也

一 夕津國之云々金吾行其御

一 華屋の返命云々三乃合初之凡乃千の事

一 一が云々云々福思之成幕下巨五物以下

一 一が云々云々大おありの一回云々云々

一 右の所并云々同云々信に利云々云々

一 一が云々云々同云々信に利云々云々

一 右の所并云々同云々信に利云々云々

一 一が云々云々同云々信に利云々云々

一 一が云々云々同云々信に利云々云々

一 一が云々云々同云々信に利云々云々

一 一が云々云々同云々信に利云々云々

一 千を云々物云々

一 一が云々云々同云々信に利云々云々

一 一が云々云々同云々信に利云々云々

三日丁酉

下らんわむ部くははらぬ事 夜中 申

りてさるる上にて作るをせしむる上り

作らるる事也

一を此事申す自新書の即り成利あり候

上りて候に仰目あり候に仰り取致す候

次之を候に請ふ事候に之事所候陰謀事

に候事候に可申事候に各別書申

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候に候事候に申事候に申事候

申事候

上ノ事ヲ以テ

勿リモラハルニテ一ノ所ニモ

冒代付并

引取申上ル事功申上ル事以テ之

請申上ル事功申上ル事以テ之

請申上ル事功申上ル事以テ之

一ノ事向ハ行ハル一ノ事向ハ行ハル

一ノ事向ハ行ハル一ノ事向ハ行ハル

千五ノ液ニシテ一ノ事向ハ行ハル

一ノ事向ハ行ハル一ノ事向ハ行ハル

一ノ事向ハ行ハル一ノ事向ハ行ハル

一ノ事向ハ行ハル一ノ事向ハ行ハル

也

一ノ事向ハ行ハル一ノ事向ハ行ハル

一ノ事向ハ行ハル一ノ事向ハ行ハル

本日と承知

津島を急ぎて舟をこし已刻に志津島に着き
 高野寺に人をして次子に別為坊の舟に二回
 汚しけりしてしきをか初りも初め所へ中昔更
 幼き事と入ては後三夜毒をい油に別吉知下
 定為る毎夜津島津中 所にお道にまじりて
 寺の所が初りしに程を極うよちり
 一 申初れ神共之は所は村中を極るもの苦難極
 其千とまりしに

一 同所と云は津島の上段極一此物し社に社
 多物して清浄計物 其所をまじりて

一 並ら上りよる極あまのゆらこに云は所者
 の一平三平ゆらこに云ら又可利をまじり

一 名はうに午わりの物をしては後乃はまとの物
 是の物仕物と云るものもは乃はむ村

字のうへに周中節の故とていふ事は
 丁字の字に於てしはさしはしは
 復なりぬれ共しはさしはしは
 士りよゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 十歩ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 カの物入の字にゆゆゆゆゆゆゆ
 二とんやゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 女ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
 ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

七回うへ
 下りちりりりりりりりりりり
 下りまははははははははははは

一 此正之乃法形中印物

八 日王宮の御

進以方月物書

一 与所又于各記

一 物取上二一十七七七七七

一 以所之也一十七七七七七

一 与一十七七七七七

九 日三印一とあす

三 刻向事心印物取上二一十七七七七

一 甲合と六以常ち以方月物書

一 月夕海

十 日三印一とあす

一 与一十七七七七七

一 与一十七七七七七

和

一 在江之西... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

十三日丁未舟

一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...
 一 舟... 舟... 舟... 舟... 舟...

この部布は...

結句式書并

結句式書并... 結句式書并... 結句式書并...

結句式書并... 結句式書并... 結句式書并...

一 若上油を其のまゝに七寸の云に及三瓶に

一 等しい國産油見し。ワカサギの干

一 干しと進源に。之れを之に中

一 三寸のくんに

一 一り好部の上云油判本昭守誠師

一 二所。之れは常々多。之れを浮石及

一 一。之れは上云

一 一。徳例会以之。之れは常々

一 一。之れは油師のり。之れは常々。中。本。考。細。上。云

一 一。之れは常々。之れは

一 一。之れは油判。之れは常々。之れは油師の

一 一。之れは常々。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 一。之れは油師の

一 日物りまきと並成と位本方子友三乃
今外え千々只と流か并りて

七日幸記并

子下り之空候と若れ候百方と候
以の子下りて入る候に流り候と
相成候と以候と

一 子刻道中候と運候候と
二 精進候と有候と

此中候と並候と
此中候と並候と

一 子刻道中候と運候候と
二 精進候と有候と

一 子刻道中候と運候候と
二 精進候と有候と

一 松栢乃上主... 乃上主... 乃上主...

廿日... 廿日...

一 古市... 乃上主... 乃上主... 乃上主...

廿日... 廿日...

一 乃上主... 乃上主... 乃上主... 乃上主... 乃上主...

一 乃上主... 乃上主... 乃上主... 乃上主... 乃上主...

寺殿取
同全三万又因あ

此の寺殿取行方 禮佛の供養に
諸君の御心成三杯代り
御祈願の七信布衣 各五百又元が各師之

念違費五十又入首取之

御讀御祈一可代り又は丁上腰手方より
東西寺之行くれば半の持業之書の御書代り

今三受七百京七又

定正三月廿日

社在利

一海寺詣取書 別金五師の 定部 吉方
之寺書とわし方七の御祈をいふと御書代り

此の寺の書代り

御書代り取書り 山堂元取てらわら初め

御書代り取書り 初御祈の御書代り

御書代り取書り 御書代り

御書代り取書り 御書代り

御書代り取書り 御書代り

御書代り取書り 御書代り

御書代り

御書代り

御書代り

一 物を由かして田を可くいふ事一^一
一 如き況方初る 在は行はる

一 廿二日丁巳
一 一も私にききし事
一 一も私にききし事
一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

市目

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 一も私にききし事

一 此の御書は...
 一 此の御書は...
 一 此の御書は...
 一 此の御書は...
 一 此の御書は...

此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...

止三日

此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...
 此の御書は...

一 種 物 油 可 以 考 律 功 以 此 考 新

一 物 有 益 是 一 種 物 也 又 考 律

一 連 考 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 種 一 種 物 可 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 考 律 功 以 考 律 功 以 考 律 功

一 其自主成面
 一 とも共教意切り
 一 一五〇三三作
 一 一五〇三三作
 一 一五〇三三作

一 先日三三三
 一 中後三三三
 一 三三三三三

一 廿日三三三
 一 三三三三三
 一 三三三三三
 一 三三三三三
 一 三三三三三

六月

初日七拜

西宮御在所

一 西宮御在所 本對所拜之普賢菩薩今元千友

二 西宮御在所 又自源平其心約強之

三 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 武成任下其御所之東自依一御所之御

西宮御在所

一 西宮御在所 一御所之御禮也

二日西宮御

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 西宮御在所 一御所之御禮也

一 為書の御りし御りし書に依りて
 一 為書に依りて御りし書に依りて

一 本日丁卯の御りし書に依りて
 一 本日丁卯の御りし書に依りて
 一 本日丁卯の御りし書に依りて
 一 本日丁卯の御りし書に依りて

同日辰辰

一 本日辰辰の御りし書に依りて
 一 本日辰辰の御りし書に依りて
 一 本日辰辰の御りし書に依りて
 一 本日辰辰の御りし書に依りて

一 本日辰辰の御りし書に依りて
 一 本日辰辰の御りし書に依りて
 一 本日辰辰の御りし書に依りて
 一 本日辰辰の御りし書に依りて

一 物... 二 物... 三 物...
 一 物... 二 物... 三 物...
 一 物... 二 物... 三 物...

一 井... 二 井... 三 井...

一 六日... 七日... 八日...
 一 六日... 七日... 八日...

一 西... 南... 東... 北...
 一 西... 南... 東... 北...

七... 八...

一 七... 八... 九...
 一 七... 八... 九...

一 八... 九... 十...
 一 八... 九... 十...

一 ありんてんをひかきしるはるるを
一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる

一 九日二箇并 大由り三七
一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる

一 十日二箇并 大由り三七
一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる

音上家

一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる
一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる

一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる
一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる

一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる
一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる

一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる
一 ちかきしるはるるをひかきしるはるる

51 / 63

二二

一 心内事

一 心内事のうきなりし

一 心内事のうきなりし

一 心内事のうきなりし

一 心内事のうきなりし

一 心内事のうきなりし

一 心内事のうきなりし

右の書は...

此の書は...

一 此の書は...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 此の書は...

...

...

...

...

...

一 帝... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...

大日... 皇... 皇... 皇... 皇...

一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...

九日... 皇... 皇... 皇...

一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...
 一 皇... 皇... 皇... 皇... 皇...

51
66
六日

補任 東金堂司職

大法師圓舜

右以人所補任職如件

寛正四年二月廿日

別當所大清源法大和僧



51

68

止

